

家庭で培う「生きる力の基礎」づくり

生活する力を育むために

＊「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣を！

「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣を身に付けておくことは、小学校以降の学習や生活を支える大事な基盤となります。寝る時刻を決めたり家族で食事を楽しむ時間をとったりして、生活リズムを整えましょう。

＊自分で判断する力を！

社会のルールやマナーなどを伝える際は、なぜそうするのかその理由も合わせて話すことが大切です。理由も学ぶ経験を繰り返すことで、子供は少しずつ自分で判断できるようになっていきます。

＊自分のことは自分で！

使ったものの片付けや着替えたものの始末をしたときの気持ちよさ、自分でできた喜びを味わうことも重要です。少しずつ習慣付けていきましょう。



関わる力を育むために

＊人との関わりは、あいさつから

「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉が自然に言えるように、身近な大人がお手本を示しましょう。小学校では、たくさんの人との出会いがあり、あいさつすることで大切な人とのつながりが広がっていきます。

＊認めることで自信を！

自力でお手伝いが少しでもできた時には、「ありがとう」「助かるよ」と声をかけましょう。そうした経験を重ねることで、人の役に立つことの気持ちよさや自分でできる喜びを感じ、自信をもって行動できるようになります。

＊家庭での会話を大切に！

短時間でも目を見て聞いたり話したりしてもらうことで、子供は満足感をもつことができます。こうした経験により心が安定し、徐々に相手の話も受け止められるようになり、言葉を通して相手と心を通わせる楽しさに気付いていきます。



学ぶ力を育むために

＊子供のやる気を大切に！

「なぜ？」「ふしぎ！」「やりたい！」と思うことは、学びの原動力です。興味のあるものに粘り強く取り組めるよう見守り共感することで、さらに意欲や探究心を育てましょう。文字や数についても、興味が出てきた時をとらえて、一緒に読んだり書いたり数えたりすると、子供たちの学びを豊かにします。

＊絵本の読み聞かせは心の栄養

絵本や物語を読んでもらうことで、子供は多くのことを学びます。親子でいろいろな本を楽しむことは、表現力や感性を育てるだけでなく、ふれあいの時間としても大切です。



お子さんの発達に関わって気になることがある場合は、ご相談ください。

高知市教育研究所 特別支援教育班

電話：(088)832-4497

【このリーフレットに関する問合せ先】

高知市教育委員会学校教育課 就学前教育班

電話：(088) 823-9479

FAX：(088) 823-9926

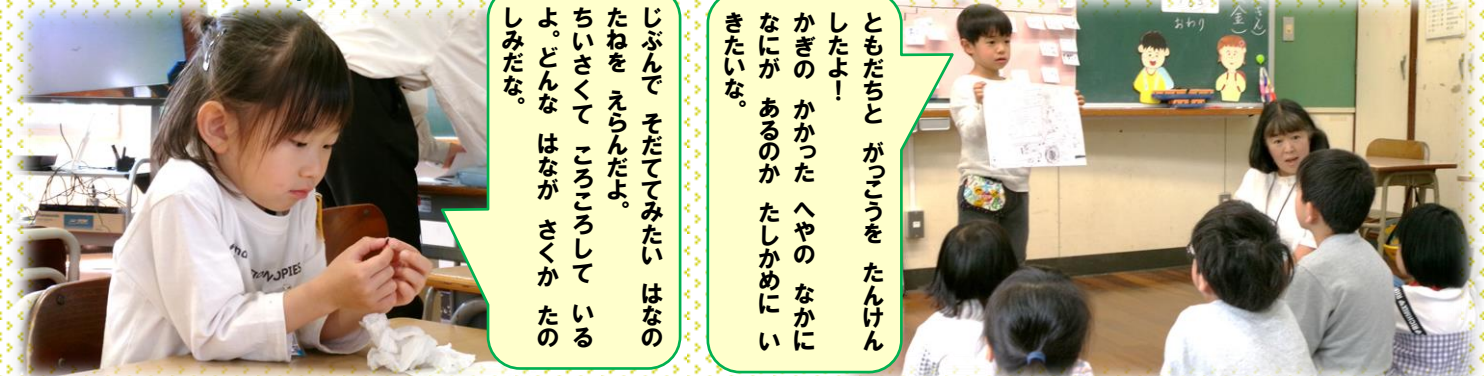
わくわく

どきどき

いちねんせい♪

安心して入学を迎えるために

～入学当初のスタート カリキュラムのようす～



高知市では、保育所・幼稚園・認定こども園等で培った「遊びを通した主体的な学び」や、規則正しい生活リズムなどの「基本的生活習慣」をもとにして、小学校で自ら学びに向かう力を育てていくことを目指し、保幼小の連携や保育・教育の接続に取り組んでいます。

お子さんが入学後、いきいきと自分の力を発揮していくためには、園や学校の取組と併せて、家庭でのお子さんとの関わりがとても重要です。

ぜひこのリーフレットをお子さんと一緒にお読みいただき、意欲と安心感をもって入学を迎えられるようご活用ください。

いちねんせい いちにち 1年生のある一日

新しい人間関係を築く時間から生活科を中心とした学習の時間、そして教科を中心とした学習の時間へと指導を工夫しています

「1年生のある一日」は、小学校入学当初「スタートカリキュラム」の例を示したものです。ぜひお子さんと一緒に読み、学校生活をイメージしてみてください。

★えんでしていたことは、がっこうでもできるね！

入学前に心がけておきたいこと

子供は一人一人が「かけがえのない存在」であり、それぞれがその子なりの「よさ」をもっています。自分で取り組む姿を応援したり、できるまでは一緒に確認したりしましょう。そして、少しでもできたことややる気を認め、意欲を育むことが大切です。



- ◆ **事前に親子で歩いてみると安心！** 通学路を通り、交通ルールを守って安全に登下校する習慣につながります。
- ◆ **園の荷物を一緒に確認しながら自分で準備すると安心！** 翌日の持ち物を、前日に自分できちんと準備できていれば、学校でも余裕をもって学ぶことができます。
- ◆ **園の手紙や荷物を自分で出せると、入学後も安心！** 帰ったら、学校の手紙や連絡帳、荷物をお家の人に知らせる習慣も必要です。少しずつ取り組んでみましょう。
- ◆ **学びの土台をつくる低学年の時期に、ご家庭でのお手伝いや生活リズムなど、「継続は力」となる習慣を大切に！** 入学後は、毎日の学習や宿題への根気も必要になります。続けて取り組むことで、確実に力が身に付いていくからです。

園と学校で育ちをつなぐ視点

～「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」～

- ◆ 園での主体的な遊びや生活を通して育まれてきている一人一人の具体的な姿を生かして活動ができるよう、園・学校では、次の共通の視点をもって保育・教育を引き継いでいます。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)

- ・ 健康な心と体
- ・ 自立心
- ・ 協同性
- ・ 道徳性・規範意識の芽生え
- ・ 社会生活との関わり
- ・ 思考力の芽生え
- ・ 自然との関わり・生命尊重
- ・ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ・ 言葉による伝え合い
- ・ 豊かな感性と表現

接続期の育ちを踏まえた指導の工夫で、子供たちが安心して、自ら遊びや学びに向かえるよう、保・幼・小で連携・接続しています。



はやおきしてあさごはんをしっかりとべましょう。
わすれものがないかたしかめてさあ、しゅっぱつ！

つうがくろをとおって、がっこうへいきましょう。
こうつうしどういんさんもあんぜんにがっこうへいけるようにみまもってくれています。

ランドセルからにもつをだして、チャイムがなったらあさのかいです。
せんせいやともだちとあいさつやうたあそびをしてなかよくなります。

★あさ、にもつをじぶんでだして、じかんになるとあつまるのはおなじだね。

こくごのじゅぎょうでは、がっこうたんけんでみつけたもので、ひらがなをべんきょうしています。
「『ろ』のつくことばって、ほかになにがあったかな。」

さんすうのじゅぎょうでも、がっこうたんけんでみつけた、こうていのゆうぐのかずを、ブロックでかぞえています。
「ぶらんこ2つとぶらんこ2つ。」
「あわせていくつになるのかな。」

やすみじかんもあります。なわとび、てつぼう、おにごっこ。としよしつでほんをよむこともできます。
「なにをしてあそぼうか。」

★やすみじかんは、ともだちをさそってそとやなかですきなあそびができるよ。



やすみじかん、トイレへいっておくと、あんしん。
てをきれいにあらいましょう。
ともだちのために、スリッパもそろえます。

★じぶんでトイレやてあらいをきちんとするのもおなじだね。

せいかつのじゅぎょうでは、そとにでて、はるのくさはな、いきものをさがしたり、たんけんしたりします。
まわりをよくみて、おもしろいものを見つけよう！

★せいかつのじゅぎょうは、はなのおせわやむしみつけができるよ。

4じかんめがおわったらきゅうしょくがあります。きゅうしょくとうばんになると、じぶんでごはんやおかずをおさらにいれます。
みんなでいっしょに「いただきます。」

★きゅうしょくとうばんもにているね。がっこうのやりかたもならおう。

そうじのじかんになりました。きょうしつはひろいけれど、みんなでほうきではいたり、ぞうきんでふいたりします。
びかびかになったら、いいきもちです。

たいいくのじゅぎょうでは、うんどうじょうやたいいくかんで、からだをぐんぐんうごかします。
みんなでたのしく、からだをうごかさう。

★きがえもじぶんでできるね。あとできがえやすいように、ぬいだふくをたためるかな？

いちにちのじゅぎょうがおわるとかえりのかいをしてからかえります。
「さようなら。」
「また、あしたね。」

★にもつをしたら、みんなであつまるのもおなじ。あしたのたのしみになるね。